

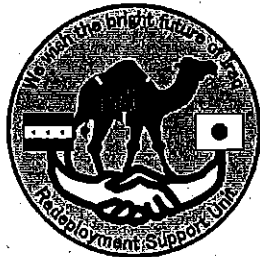
10/19/04
 2003
 02-W 10

AWK 後送隊
 9/10 奥野 385 A
 3 松 5 務 7 2 0
 国 経 務 省 外 務 局

AWK
 2003 JAL
 1月 9日 後送隊 出 発
 → 21.



イラク後送業務隊の活動報告



18. 8. 9

イラク後送業務隊

イラク後送業務隊活動報告 (8月9日)

1. 人員・装備の状況

○ 人員：クウェート後送隊 [] 帰国 ([] のため)
 装備：異状なし

2. 9日(水曜日)の活動

区分	業務内容
コンテナ作成	10個コンテナ作成 (需品×6、車両×2、通信×1、施設×1)
洗車	14両後送準備終了 (LAV×13、中型ドーザ×1)
後送業務 本邦後送	○シュवाईク港から専用船による車両65両の後送(8月11日予定) 6日～9日：車両のシュवाईク港への搬入 6日～11日：通関のための処置 11日：専用船への車両の積載 着港が10日2000に変更となったため
その他	○浄水セットから浄水装置の取り外し(処分のため) ○10次群長から補給への物品の異動に伴う証書の作成 ○不用品処分ための準備(10日契約予定)
その他	○別紙第1「RSU活動状況(8月9日)」

8月9日現在

KWからの装備品等の後送状況把握（全体像）

コンテナ

KWから本邦へ後送するコンテナ総数【581本】			
コンテナ詰め数【233本】		空数【348本】	
終了【179本】 (76.8%)	今後実施【54本】		
後送済【76本】		後送済【50本】	

車両

KWから本邦へ後送する車両総数【224両】	
洗車終了【179両】 (79.9%)	今後実施【45両】
後送済【27両】	

3 後送業務の進捗状況

8月9日末現在

区分	計画		実績 (c)	進捗度		残数	備考
	総数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (c/a)	計画比 (c/b)		
コンテナ	開梱 (コンテナ数)	337	-	337 【0】	100%	-	0
	コンテナ詰め (点数)	99,464	48,323	48,502 【1,378】	48.8%	100.4%	50,962
	後送 (点数)		16,635	16,635 【0】	16.7%	100%	82,829
車両	洗浄	224	149	179 【14】	79.9%	120.1%	45
	後送		27	27 【0】	11.3%	100%	197

※ 点数については、弾薬を除いた点数
【 】内は当日の実績で内数

4. 10日(木曜日)の活動予定

区分	業務内容
後送業務	コンテナ作成 10個コンテナ作成 (車両×5、通信×1、需品×4)
	洗車 3両後送準備完了 (中型セミトレーラ×3)
	本邦後送 ○シュワイク港から専用船による車両65両の後送(8月11日予定) 6日～9日:車両のシュワイク港への搬入 6日～11日:通関のための処置 11日:専用船への車両の積載 ○シュワイバ港からコンテナ船によるコンテナ70本(実60、空10)の後送(8月13日予定)
	その他 ○10次群長から補統への物品の異動に伴う証書の作成 ○不用品処分ための準備(10日契約予定)
その他	

5. 週間後送計画及び実績

区分	8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11
	土	日	月	火	水	木	金
コンテナ作成	0	車両×4 需品×3	車両×3 需品×2 施設×2	車両×2 通信×2	需品×3 →6 車両×2 通信×1 施設×1	車両×2 →5 需品×4 通信×1	0
	0	車両×4 需品×3	車両×3 需品×2 施設×2	車両×2 通信×2	需品×6 車両×2 通信×1 施設×1		
洗車	0	4	3→6	2→4	5→9	5→3	0
	0	8	7	6	14		
後送	コンテナ						
	トレーラ						
	車両						65

※下段には実績を記入

6. 日々ミーティング

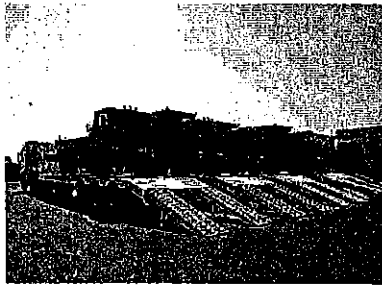
○ 治安情勢: 別紙「クウェートの治安状況等(8月9日)」

○ RSU長指導事項

- ー 本日、本邦での入札で貨物輸送については、日通・アントノフエアー、隊員輸送についてはJTB・JALに決定した。日通のアントノフエアー及びJTBについては、10次群帰国時とは異なるので、よく特性を踏まえて調整せよ。今後、我々の撤収にも目を向けつつ業務を実施せよ。

RSU活動状況 (8月9日)

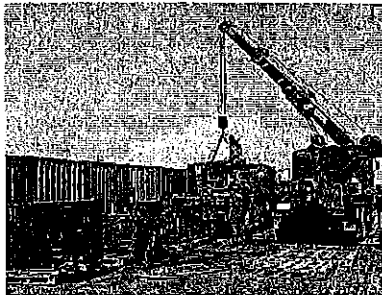
別紙第1



シュワイク港への本邦後送車両の搬入



倉庫における車両の2次洗浄






浄水装置の卸下



浄水装置の廃棄前処置

クウェートにおける対イスラエル・米国デモ発生状況(2/3)

日付	内 容	デモ状況
8/1	1 場 所：クウェート市内（細部不明） 2 参加者数：不 明 3 主 張 等：レバノンにおけるイスラエルの残虐行為及び無実の一般市民への攻撃の米国の黙認に関して批判 4 特 色：主として子供たちにレバノンの子供たちの惨劇を見せるため実施	
8/2	1 場 所：在クウェートレバノン大使館前 2 参加者数：約30名(子供) 3 主 張 等：イスラエルの攻撃に対するレバノンの抵抗を支援 4 特 色：子供がデモに参加	
8/7	1 場 所：旗の広場～国会議事堂 2 参加者数：約3000名(シーア派・スンニ派・自由主義連合学生、教職連合) 3 主 張 等：イスラエルによる残忍な攻撃を非難 米国にテロリスト国家支援から手を引くよう要求 4 特 色：過去最多人数。国会議事堂まで練り歩き、4名の国会議員が参加、内1人は2回目	

クウェートにおける対イスラエル・米国デモ発生状況(3/3)

【総括】

1. 回数を経るにつれ人数が増加し、参加構成員も多様化。
2. 過去1週間に3回も発生。
3. 主張は一貫
 - (1) イスラエル、アメリカは悪魔
 - (2) レバノン救済の訴え
 - (3) アラブ諸国の及び腰も併せて非難
 - (4) レバノン情勢に対し「ジハードを実施しよう！」までは訴えていない。

【その他の事象】

レバノンの悲惨な状況に対して、クウェートの数名の学者が「ジハードは宗教的義務である。」と表明した記事がアラブタイムズ（7/23付及び8/9付）に掲載。

【評価】

1. 過去1週間以内に3回も発生している事、引き続き停戦の可能性が見えない事から同様のデモは米大使館周辺やクウェート市内の公共場所で今後も発生する可能性は高く、業者調整で市内活動を実施する場合は巻き込まれないよう注意。
2. 国会議事堂に対する練り歩きも実施している事、国会議員も複数回参加している事、クウェートの大学の教授がジハードを主張している事からレバノン情勢に対して在クウェートレバノン人あるいはクウェート国内にも潜伏している模様のイスラエル戦士（8/8付クウェート内務省情報）が反米を訴える過激な行動を起こす可能性は捨てきれず（具体的情報は現時点でなし）米軍基地周辺の活動時は注意を要する。